



岩手県立前沢高等学校



創立 大正14年4月1日(前沢町立女子職業専修学校)
 開校記念日 5月1日
 住所 〒029-4206
 岩手県奥州市前沢字狐石36-1
 電話 事務室 0197-56-2241 職員室 0197-56-2443
 FAX 0197-56-2303
 URL <http://www2.iwate-ed.jp/mae-h/>
 交通機関 JR東北本線前沢駅下車/徒歩25分
 校長 及川 浩純

1 設置学科等

(平成30年5月1日現在)

課程	学科名	平成30年度生徒数		
		1年	2年	3年
全日制	普通科	59	37	41

2 本校のめざす生徒像

校訓「聴く 明るく 逞しく」のもと、知・徳・体を備え、調和のとれた人格を有し、地域社会や国際社会の発展に寄与する人間をめざして

- 1 学習に取り組み、確かな学力を身につけようとする生徒
- 2 進路を意識して有為な社会人にふさわしい資質を身につけようとする生徒
- 3 生徒会・部活動を通じて、逞しく生きる力を身につけようとする生徒

3 平成31年度入学者選抜方法について

平成31年度の募集定員や選抜方法は、平成30年10月に確定します。

① 平成30年度推薦入学者選抜方法(平成30年1月26日に実施)

学科名	普通科	定員	80名
募集定員	10%(8名)		
推薦基準	次の1~5の条件を満たす者 1 本校の教育を受けるに足る能力・適性を持つ者 2 基本的な生活習慣が身につけている者 3 中学校3年間の欠席日数が、原則として10日以内の者 4 志願理由が明確かつ適切で、入学後も引き続き意欲的な高校生活を送る事が期待できる者 5 中学校の部活動において意欲的な活動を行い、本校入学後も以下の部活動を継続する意志を有する者 (対象となる部活動) バドミントン部、硬式野球部、ソフトテニス部、バレーボール部(女子)、卓球部、 バスケットボール部、吹奏楽部 なお、5は応募資格Aに該当する。		
検査内容	1 面接 個人面接(15分程度) 2 作文 400字以内(30分)		
選抜方法	1 調査書(90点) 「各教科の学習の記録」(1・2・3年の9教科の評定合計135点を90点に圧縮) 2 活動実績(100点) 調査書および志望理由書に記載されている実績 3 面接(30点) 4 作文(30点) <合計 250点> ※合計点をもとに、総合的に判断して選抜する		
一次選考の有無	無		

② 平成30年度入学者選抜方法(平成30年3月8日実施)

普通科 定員	80人	A選考	B選考	C選考
各選考方法の割合		定員のすべて	—	—
学力検査と調査書面接等との割合		5:5	—	—
小論文・作文・適性検査、傾斜配点の有無		なし	—	—

4 特色ある教育活動

確かな学力を身につけるための学習指導

本校では普通科として、国語・社会・数学・英語・保健体育・家庭・情報などを学ぶことで、すべての学問の土台になる確かな学力を身につけ、基礎的・基本的な知識や技術を習得します。

1年生・2年生では、教科や場面に応じて少人数や習熟度別のクラスを編成し、きめ細かい指導で基礎学力を身につけ、さらには応用力も磨きます。この2年間で、自分の進路希望をはっきりさせながら、高等学校の学習を進めます。3年生では進路別のコースを設定し、進学希望の生徒と就職希望の生徒が別々のカリキュラムで学習を進め、進路の達成を目指します。



有為な社会人にふさわしい資質を身につけるための進路指導

本校はキャリア教育に力を入れており、インターンシップなど、自らを高めながら将来を考える教育活動を多く組み入れています。また、進学・就職どちらの希望についてもきめ細かい進路指導を行い、生徒一人ひとりが進路目標に向けた取り組みを行います。

進学希望者には個別添削指導や課外授業、大学・短大・専門学校等の希望別ガイダンスを行います。また、就職希望者には定期的にガイダンスを行い、書類作成や礼法の指導、面接練習を丁寧に行います。生徒一人ひとりの進路目標の実現に向けた指導を実践しています。

さらに、進学や就職に有利な資格取得にも1年生から積極的に取り組んでいます。その結果、国公立大学も含めた進学、就職ともに高い決定率を誇っています。

進 学			
	平成 29年度	平成 28年度	平成 27年度
大 学	5	7	6
短 大	2	3	5
専門学校等	15	16	8
合 計	22	26	19

就 職			
	平成 29年度	平成 28年度	平成 27年度
県 内	15	19	27
県 外	5	8	3
合 計	20	27	30

遅く生きる力を身につけるための生徒会・部活動指導

本校では部活動の取り組みも積極的に行っており、運動部・文化部ともに活発に活動しています。特にバドミントン部はインターハイや国民体育大会出場など、全国で活躍しています。生徒会活動も活発で復興支援ボランティア活動「絆の輪プロジェクト」を継続実施しています。

<設置している部>

運動部 バドミントン／硬式野球／ソフトテニス／バレーボール／バスケットボール／卓球

文化部 吹奏楽／美術／総合文化／JRC

5 諸経費（1年生 平成30年度実績）

入学金	諸会費	学年費	制服代	教科書	副教材	授業料	合 計(年間)
5,650 円	42,600 円 (4,260 円 ×10 回)	男 72,600 円 女 73,280 円 (分割納入 1回目 50,000 円 2回目男 22,600 円 女 23,280 円)	男 35,364 円 女 58,864 円	8,670 円	20,333 円	118,800 円 (9,900 円 ×10 回)	男 304,017 円 女 328,197 円

※その他、修学旅行積立など、年度途中から翌年にかけてかかる費用もあります。

※制服代、教科書代、副教材費は変更になることがあります。

※授業料については支援金制度があります。詳しくは「7」を参照してください。

6 校長からひとこと

本校は、1925年「前沢町立前沢女子職業専修学校」として旧前沢小学校跡地で産声を上げました。以来、幾多の変遷を経て、今年で93年目を迎える歴史ある学校です(ちなみに、県内67校ある公立高等学校中、明治時代の創設は16校、大正時代の創設は15校、他は昭和～平成の創設ですが、大正14年創設の本校は、その中で29番目に長い歴史を持つ高校です)。校歌に歌われているとおり、学び舎の窓に仰ぐのは、寝観音と称される東稲山。かの西行法師が、「きよもせず 東稲やまの さくら花 よし野のほかにかゝるべしとは」と詠んだ、姿優しい山です。遠く西方に目をやれば、焼石連邦や須川岳(栗駒山)など、奥羽山系の山並みを厳かに眺めることができます。東稲山の麓には、北上川が悠久の時を刻んで流れています。そんな地形が天候に影響するためでしょうか、ここ前沢の地は、美しい虹が頻繁に見られる土地のようです。今年の入学式の日も、町を大きく跨ぐ美しい虹を、眼下に眺めることができました。このことは、本校にとりまして、大変象徴的なことだと思っております。

旧国道から本校に至る坂道は、箱根駅伝の山越えもかくやと思わせる急勾配ですが、生徒諸君が夢の実現や目標を達成するために頑張っていこうとする強い気持ちを育み、いつしか「青春坂」と呼ばれるようになりました。社会人として、誰もが直面する様々な困難を克服したとき、「青春坂はいつも優しく微笑んでいたのだ」と知るはずです。

「青春坂」で鍛え抜かれたバドミントン部は、全国屈指の強豪として知られ、今年度も活躍を期待されています。さらに40年以上にわたって取り組んできた地域ボランティアや福祉活動に加え、東日本大震災以降続けております「前高『絆の輪』復興支援ボランティア」など、素晴らしい活動を継続しております。これまでの実績が認められ「ボランティアスピリット賞コミュニティ賞」や「児童生徒実践賞」など、数多くの表彰を受けてきました。

7年後の100周年、そしてその後続く「前高新世纪」に向かって、本校は「小さくてもキラリと光る、存在感のある学校」、「生徒も職員も生き生きと元気に活動する学校」、そして「共に支え合い、励まし合う校風」を基盤とし、さまざまな挑戦を続けています。また、生徒一人ひとりに寄り添い、多様な進路希望にもしっかりと対応できる体制を整えています。「生徒と地域、生徒と実社会、生徒と未来を結ぶ美しい虹の架け橋」、本校はこれからもそんな高校であり続けたいと考えています。

7 公立高等学校就学支援金制度に関する県教育委員会からのお知らせ

- (1)平成26年度から県立高校の授業料に高等学校等就学支援金制度が導入されました。
- (2)この制度により、一定の所得未満の家庭の高校生は授業料の納付が不要となりました。
- (3)一定の所得未満とは、保護者の市町村民税所得割額の合算が30万4200円未満です。

なお、平成30年7月1日から保護者の県民税・市町村民税所得割の合算額が50万7000円未満に変更となります。

- (4)手続き等については、入学手続き関係書類の送付と併せてお知らせする予定ですが、制度について詳しくお知りになりたい方は、下記の文部科学省ホームページ「高等学校等就学支援金制度(新制度)について」をご覧ください。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/mushouka/index.htm

【参考】県立高校授業料・通信制受講料

全日制(月額)9,900円 定時制(月額)2,700円 通信制(1単位)190円